



# 北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

## ★「いじる」、よく耳にするようになった言葉ですが…

校長 津村 慶

6月は東京都が定める「ふれあい月間」です。いじめについて考え、誰もが楽しく過ごせるように、日頃の生活を見直す期間です。今回は、「いじる」という行為から、「いじめる側」と「いじめられる側」の両方を経験した中学生の作文を紹介します。【第39回全国中学生人権作文コンテスト(一部抜粋)】

「いじられキャラ」という言葉を聞くと、「みんなから愛される人」という印象を持つと思う。だが、本当にそうなのだろうか。

私の友人に、よく周りからいじられている子がいた。その子はいつもニコニコしていて、誰にでも優しく、まったく怒らないタイプだった。だからみんなは毎日その子をいじっていた。最初のころは、軽いいじりだった。私もその子のことをいじり楽しんでた。だが、そのいじりはだんだんエスカレートしていった。その子のことをひどくバカにしたり、みくびった発言をしたりしていた。日が経つごとに、いじりはひどくなっていった。ひどい時にはその子を部屋に閉じ込め、出られないようにドアを押しえたり、カギをかけたりした。「ねえ、開けてよ！」 そう言ってもみんなは笑っていた。さすがに私は、いじめなんじゃないかと思っていた。周りの人も、何人かはそう思っているようだった。しかし、その場の空気や本気で楽しんでいる人達に怖気づいてしまい、私は何も言えなかった。そして何よりも、その子も笑っていたからだ。嫌そうな顔をせず、楽しんでいるように見えたからだ。なので私は「この子は大丈夫なんだな。」と思い、そのままみんなと笑っていた。

この頃から、その子へのひどいいじりは毎日になり、当たり前になっていった。その子を叩いたり強く押したり、その子から逃げたり避けたり、もうなんでもありだった。しかしその子は、一度たりとも嫌な顔をしたり、怒ったりはしなかった。ただ笑っていたのだ。もう私は、ひどいいじりを受けている所を見ても、なんとも思わなくなっていた。私はその子のことを「何をされても怒らない子」と勝手に決めつけていた。

ある時から、私も周りの人からいじられるようになった。初めはちょっかいをかけられるぐらいで、私も楽しかった。だが、そのいじりもだんだんひどいものになっていった。まず、私のことが嫌いだと何人かに大きな声で叫ばれた。冗談だということは分かっていたが、何だか惨めな気持ちになった。私がみんなの方に行くと逃げられたりした。靴をとられたり、隠されたりした。すごく嫌で、やめてほしかった。本当は嫌って言いたかったけど、もし言ったら空気を壊してしまいそうで言えなかった。何より、仲の良い友達にいじられるから、すごく言いつづらかった。だから笑って耐えることしかできなかった。ところが、私へのいじりは日に日になくなっていく。ホッとしたが、心の中ではもやもやしていた。

私は実際にいじられてみて、気付いたことがあった。それは「いじり」は「いじめ」と変わらないということ。いじっている人からすれば「いじめ」ではなく「いじっているだけ」と思うかもしれないが、いじられている本人からすると「いじめられている」と感じてしまう「いじり」もあるのだ。

そのことを身に染みて実感する出来事があった。毎日みんなからひどいいじりを受けていながらも、笑顔だった友人が泣いたことだった。私はすごく驚いた。この友達は「何をされても怒らない子」ではなかったのだ。そもそも、そんな人なんていないのだ。そして私は気がついた。それは、無意識に私は「いじめ」をしていたということだ。「軽いいじり」はいつのまにか「いじめ」に変わってしまっていたのだ。私はその子に謝り、それ以来、いじることをやめた。

テレビのバラエティ番組などを見ると、名前の売れた先輩の芸人が、後輩の芸人に変なことをさせたり、からかったりして笑いをとるような場面があります。先輩から話題を振られる後輩の芸人も、それを喜んでいような雰囲気になっています。しかし、あれらはすべて、事前につくられた台本をもとに、入念に打ち合わせをして行われていることです。変なことをさせられる後輩芸人も、仕事として番組の中で笑いを提供することで出演料をもらっているのです。後輩の芸人も、そういう流れになることを了解していて、より面白くなるようなリアクションを準備して待っています。後輩をいじる先輩も、先輩にいじられて笑われる役の後輩も、しっかりと打ち合わせをしたうえで仕事として行っています。ですから、それと同じようなことを日常生活の中で事前の打ち合わせもないままに行ってはいけません。

北中生の皆さんは毎日、規律ある学校生活の中で明るく、楽しそうに過ごしています。しかし、そんな生活の中でも、友達同士の間で、嫌な思いや辛い思いをしている人がいるかもしれません。自分にはそんなつもりはなくても、相手がそれをどう受け止めるか、自分が相手の立場になったらどう思うか。それらを常に心にとめて、すべての生徒が楽しく過ごせる学校にしたいですね。

## マスクを付ける場面、はずす場面について

先日、文部科学省が、学校生活における生徒のマスクの着用について文書で注意を呼びかけました。東京都も梅雨に入り、これから蒸し暑い日が続きます。新型コロナウイルス感染症の予防にはマスクの着用は効果的ですが、常に着用しなければならないわけではなく、マスクをする必要がない場面がいくつか示されています。

### 【学校生活においてマスクの着用が不要な場面】

- ◆屋外で、他の人との身体的距離が1～2m程度離れている場合
- ◆屋外で、他の人との身体的距離が離れていなくても、会話をほとんどしない場合
- ◆屋内でも、他の人との身体的距離が1～2m程度離れていて、会話をほとんどしない場合



※ 体育の授業や部活動など、運動をする場面はもちろんですが、登下校時や休み時間などでも上の3つの条件に当てはまる場合には、マスクの着用は不要です。

	身体的距離が離れている(1～2m)		身体的距離が離れていない	
	屋外	屋内	屋外	屋内
会話をよくする	する必要はない	した方がよい (換気が十分なら しなくてもよい)	した方がよい	した方がよい
会話をほとんど しない	する必要はない	する必要はない	する必要はない	した方がよい

★ 気温や湿度が高い日にマスクをしていると熱中症になる危険性が高まります。熱中症はコロナ以上に命に関わる危険がありますので、心配な時には積極的にマスクを外しましょう。

★ マスクの着脱は強制されるものではありません。自分の体調や周りの状況をしっかりと見極めて、付ける場面とはずす場面を自分で判断できるといいですね。迷ったときには先生に聞いてください。



## 運動会が行われました！

5月26日(木)の午前中に2年生、27日(金)は雨のために午後の実施に変えて1年生、28日(土)の午前中に3年生の学年別運動会が行われました。28日(土)の午後からは全学年揃っての運動会も行うことができました。



## びよこたん放課後学習教室



本校では定期試験前の1週間地域の方が放課後に学習教室を開いてくださっています。各自が学習教材を持ってきて自主学習を行うための場所です。自宅では、勉強がなかなか進まない、という生徒は積極的に活用してください。

利用時間は、水曜日は**14:30~17:00**、他の曜日は**15:30~17:00**です。残って学習教室で勉強する日は保護者に必ず伝えてから参加してください。文武両道を目指して、頑張り！北中生!!

## ユニセフ基金へのご協力 ありがとうございました!!

生徒会が行ったウクライナの子どもたちを救うためのユニセフ基金が、総額で79,907円も集まりました。皆さんの善意は必ずウクライナに届くと思います。ご協力、ありがとうございました。





## スポーツテスト&身体計測

6月1日(水)に、各学年2時間ずつの時間で計測を行いました。



## 薬物乱用防止教室

6月7日(金)、中野区ライオンズクラブ、野方警察署の方々がお越しになり、5校時に1年生が、6校時に2年生が授業を受けました。薬物の恐ろしさを知った貴重な時間でした。



## オープンキャンパス

6月8日(水)武蔵台小学校、上鷺宮小学校、西中野小学校の6年生147名が、中学校の授業体験に来ました。



## 道徳授業地区公開講座

6月11日(土)の2・3校時、道徳授業地区公開講座を行いました。



## ♪ 北中生のちょっとうれしいお話… ♪

少し前の話になりますが、5月下旬のある朝、北中の保護者の方から学校に嬉しいお知らせのお電話をいただきました。朝、小さな子どもの泣き声が聞こえたので家の外に出てみると、小学校低学年の子が道路で鼻血を出して泣いていたそうです。転んでしまったようで、服にもたくさん血がついていました。すると北中のジャージを着た男子生徒がしゃがんで「大丈夫？」と声を掛け、泣いている小学生を介抱してくれていたそうです。すぐに交通安全指導の方が来て、小学生を連れて行ってくれたそうですが、泣いている小学生を気遣う様子がとても優しくて素晴らしかったので、学校に連絡をくれた、とのことでした。男子生徒の学年や名前は分かりませんが、そんな行動が普通にできる北中生をととても誇らしく思います。